

# 『注文の多い料理店』新刊案内

宮沢賢治

青空文庫



イーハトヴは一つの地名である。しいて、その地点を求むるならば、それは、大小クラウスたちの耕たがしていた、野原のほらや、少女アリスがたどった鏡かがみの国と同じ世界せかいの中、テパーンタール砂漠さばくのはるかな北東、イヴン王国の遠い東と考えられる。

じつにこれは著者の心象中に、このような状じょうけい景をもつて実じつぎ在いしたドリームランドとしての日本岩手県である。

ここでは、あらゆることが可能かのうである。人は一いっしゆん瞬しゆんにして氷ひよう雲うんの上に飛躍ひやくし大循環だいじゆんかんの風を従したがえて北きたに旅たびすることもあれば、赤い花はな杯はなの下したを行ありく蟻あひと語かたることまでできる。

罪つみや、かなしみでさえそこでは聖きよくきれいにかがやいている。

深い櫛ふかの一部いちぶである。それは少年少女期おわの終りごろから、アドレスセンス中ちゅうよう葉たいに対する一つの文学としての形式けいしきをとつてい

る。  
この見地からその特色を数えるならば次の諸点に帰する。

- 一 これは正しいものの種子しゆしを有し、その美しい発芽はつがを待つものである。しかもけつして既成きせいの疲れた宗しゅう教きようや、道どう徳とくの残滓ざんしを、色あせた仮面かめんによつて純真じゆんしんな心意しんいの所しよ有者ゆうしやたちに欺あざむき与あたえんとするものではない。

- 二 これらは新しい、よりよい世界せかいの構成こうせい材料ざいりようを提てい供きようしようとはする。けれどもそれは全くまったく、作者さくしやに未知みちな絶えざる驚異きやういに値あたする世界せかい自身の発はつ展てんであつて、けつして

畸形きけいに捏ねあげられた煤色すすいろのユートピアではない。

## 三

これらはけつして偽いつわりでも仮空せつとうでも窃盗せつとうでもない。

多少たしょうの再度さいどの内省ないせいと分析ぶんせきとはあつても、たしかにこ

のとおりその時心象しんしょうの中に現あらわれたものである。ゆえ

にそれは、どんなに馬鹿ばかげていても、難解なんかいでも必ず心かならの

深部しんぶにおいて万人ばんにんの共通きょうつうである。卑怯ひきょうな成人せいじんた

ちに畢ひつきよう竟ふかかい不可解ふかかいなだけである。

## 四

これは田園でんえんの新鮮しんせんな産物さんぶつである。われらは田園でんえんの風

と光の中ひかりのちゆうからつややかな果実かじつや、青い蔬菜そさいといつしよにこ

れらの心象しんしょうスケッチを世間せけんに提供ていきやうするものである。

注文ちゆうもんの多い料理店りょうりてんはその十二卷じふにまきのセリーズの中の第一冊だいいっさつ

でまずその古風こふうな童話どうわとしての形式けいしきと地方色とをもつて類集るいしゅうしたものであつて次の九編つぎへんからなる。

目次と………その説明

(中略、ここに「注文ちゅうもんの多い料理店」の中扉なかとびらの力りょうりてんツトを挿入そうにゆうしてある)

1 どんぐりと山猫

山猫やまねこ拜はいと書いたおかしな葉書はがきが来たので、こどもが山の風の中へ出かけて行くはなし。必かならず比ひか較かくをされなければならぬ。いまの学童がくどうたちの内奥ないおうからの反響はんきようです。

2 狼森と筑森、盗森

人と森との原始げんしてき的な交こう渉しようで、自然しぜんの順違じゆんい二面にめんが農

民あに与あたえた永ながい間の印いん象しょうです。森こが子ども供もらや農のう具ぐをか  
くすたびに、みんなは「探さがしに行くぞお」と叫さけび、森は  
「来こお」と答こえました。

### 3 鳥の北斗七星

戦たたかうものもの内ない的てき感かん情じょうです。

### 4 注文の多い料理店

二人ふにの青年しんし紳し士りが猫ねこに出いて路みちを迷まよい、「注ちゅう文もんの多い料り  
理り店てん」にはいり、その途と方ほうもない経けい営えい者しやからかえつて  
注文ちゅうもんされていたはなし。糧かてに乏とほしい村むらのこどもらが、都と都かい  
会かい文ぶん明めいと放ほう恣しな階かい級きゅうとに對たいするやむにやまれない反はん  
感かんです。

## 5 水仙月の四日

赤い毛布ケットを被かつぎ、「カリメラ」の銅鍋どうなべや青い焰ほのおを考えながら雪の高原を歩いていたこどもと、「雪婆ゆきばンゴ」や雪ゆき狼イノ、雪童子ゆきわらすとのものがたり。

## 6 山男の四月

四月のかれ草の中にねころんだ山男の夢ゆめです。鳥からすの北斗ほくとし七星ちせいといっしょに、一つの小さなこころの種子しゆしを有もちます。

## 7 かしわばやしの夜

桃色ももいろの大きな月はだんだん小さく青じろくくなり、かしわはみんなざわざわ言い、画描えかきは自分の靴くつの中に鉛筆えんぴつを



削けずつて変へんなメタルの歌をうたう、たのしい「夏の踊おどりの第だい三夜」です。

8

月夜のでんしんばしら  
うろこぐもと鉛なまりいろ色の月光、九月のイーハトヴの鉄道てつどう  
線路せんろの内想ないそうです。

9

鹿踊りのはじまり  
まだ割わかれない巨おおきな愛あいの感かんじよう情じようです。すすきの花の向むかい  
火や、きらめく赤せつかつ褐こだちの樹立こだちのなかに、鹿しかが無むしん心に遊あそんで  
います。ひとは自分と鹿との区別くべつを忘わすれ、いっしよに踊おどろ  
うとさえします。



# 青空文庫情報

底本：「注文の多い料理店」角川文庫、角川書店

1996（平成8）年6月25日改訂新版発行

1997（平成9）年5月25日改訂4版発行

※「（中略、〜）」は編集者による注記です。創作的表現にはあたらなないと判断し、底本通りとしました。

※底本の「地方名」を「地方色」に改めるにあたっては「宮沢賢治全集8」（ちくま文庫、1986）、「注文の多い料理店」（新潮文庫、1990）を参照しました。

※傍点は原文（初版本刊行時の広告ちらし）で赤刷りされた文字

を表します。

入力：土屋隆

校正：noriko saito

2005年2月21日作成

2005年5月21日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# 『注文の多い料理店』新刊案内

宮沢賢治

2020年 7月13日 初版

## 奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>